



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimuj@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻教員

1. 准教授または助教 1 名
2. (1) 物理学・宇宙物理学専攻物理学第二分野
天体核物理学研究室
(2) 京都市
3. 天体核物理学
5. (1) 決定後なるべく早い時期
7. ○履歴書、○業績リスト、○主要論文別刷 5 編程度、○現在までの研究概要、○着任後の研究計画、○着任可能時期、○希望する職種（准教授または助教）
8. 2008 年 1 月 25 日（金）
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学大学院理学研究科物理学第二教室
主任 笹尾 登
(2) 同上 中村卓史
Tel: 075-753-3831
10. 提出書類は原本とそのコピーを 2 部同封し、封筒に「天体核人事応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。なお応募書類は返却しません。

東京大学大学院理学系研究科 天文学教育研究センター教員

1. 准教授 1 名
2. (1) 東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究

センター

- (2) 東京都三鷹市大沢 2-21-1
3. 観測天文学
4. 当センターは銀河天文学、電波天文学、恒星物理学の 3 部門および木曾観測所で構成されています。これらの研究部門と連携をとりつつ研究を進められる方を求めます。また天文学専攻の専任教員として大学院および学部教育も担当していただきます。
5. 採用決定後なるべく早い時期
6. 博士の学位あるいはそれと同等の研究歴をもつ方
7. (1) 履歴書（写真添付）、(2) これまでの研究概要、(3) 業績リスト、(4) 主要論文別刷（3 編以内）、(5) 着任後の研究計画と抱負、(6) 自薦の場合は本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先、(7) 他薦の場合は推薦書の他に上記事項 (1)-(5) の書類。
8. 平成 20 年 1 月 18 日（金）必着
9. (1) 〒181-0015 東京都三鷹市大沢 2-21-1
東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター センター長 吉井 譲
Tel: 0422-34-5027 Fax: 0422-34-5087
e-mail: yoshii@ioa.s.u-tokyo.ac.jp
(2) 提出先と同じ
10. 応募注意 封筒に「准教授応募書類」と朱書きし、直接持参するか、簡易書留で郵送。

鹿児島大学理学部物理科学科宇宙情報講座

1. 准教授 1 名
2. 鹿児島大学理学部物理科学科宇宙情報講座（鹿児島市）
3. 銀河天文学・星間物理学
4. 銀河天文学及び星間物理学の教育・研究。当学科は物性理論・固体物理・宇宙情報の 3 講座で構成されています。宇宙情報講座では、理学部が運営する 1 m 光赤外線望遠鏡、国立天文台と協力して運営する VERA、6 m 電波望遠鏡などを用いて観測天文学を進めています。VERA 等を活用して教育研究をする方を求めます。担当科目は宇宙科学・天文学、物

理学、共通（教養）教育で、大学院の教育・研究指導にも携わります。また、後述の当学科教員と協力して物理学の教育研究活動もできる方が望まれます。

5. 決定後なるべく早い時期、任期なし、定年は65歳です。
6. 博士号取得者
7. (1) 履歴書, (2) 研究業績と教育実績, (3) 研究計画および研究教育への抱負, (4) 論文リスト, (5) 主要論文別刷り5編以内, (6) 意見を述べられる方2人の氏名と連絡先。
8. 2007年12月31日（当日消印有効）
9. (1) 〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-35
鹿児島大学理学部 物理科学宇宙情報講座
祖父江義明
e-mail: sofue@sci.kagoshima-u.ac.jp
(2) 同上
10. 封筒に准教授応募書類と記し、簡易書留相当でお送り下さい。
11. 当学科の教員構成は下記の通りです（アイウエオ順）。宇宙情報講座教授：祖父江義明、立野洋人、西尾正則、根建心具；准教授：亀野誠二、中西裕之、中村昭洋；助教：今井 裕；研究員：中川亜紀治；なお研究面では面高俊宏理事も協力しています。物性理論講座教授：藤井伸平、（特任教授）石田尚治；准教授：秦 浩起；助教：橋爪健郎。固体物理講座教授：廣井政彦；准教授：伊藤昌和、永吉秀夫、古川一男；助教：重田 出

名古屋大学大学院理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻教員

1. 教授もしくは准教授1名
2. (1) 名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻
(2) 名古屋市
3. 宇宙物理学（観測）
4. 飛翔体を用いた赤外線観測グループをリードできる人を広く求めます。
5. 決定後なるべく早い時期
7. (1) 履歴書, (2) 研究業績, (3) 論文リスト, (4) 主要論文別刷, (5) 研究計画書, 他薦の場合は推薦書1通, 自薦の場合は、意見を聞くことのできる人2名をお知らせ下さい。
8. 2008年2月8日（金）必着
9. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院理学研究科物理教室

主任 中西 彊

(2) 國枝秀世

Tel: 052-789-2920 Fax: 052-789-2919

e-mail: kunieda@u.phys.nagoya-u.ac.jp

10. 封書に「人事応募書類在中」と朱書し、簡易書留にて送付すること。応募書類はお返ししません。

国立天文台 ALMA 推進室准教授

1. 准教授1名
2. (1) 国立天文台 ALMA 推進室
(2) 東京都三鷹市
3. ALMA プロジェクトの推進
4. 国立天文台では、日米欧三極による国際プロジェクトである ALMA の建設を進めています。日本が分担する装置の開発・製造に加え、今後はチリ現地での装置の立ち上げや初期の科学運用など、プロジェクトが大きく展開する段階となります。今回公募する准教授には、ALMA 東アジア地域マネージャーである立松健一教授と協力して、チリ現地における試験運用 (CSV) を推進し、その経験を生かして初期科学成果を出し、ALMA を用いた観測的研究を指導的に進められる研究者を求めます。さらには、東アジアにおける ALMA の共同利用運用、観測データのアーカイブ、装置の保守、ユーザーコミュニティとの連携、広報活動などを強力に推進することが期待されます。なお、本准教授の職務を遂行するためには、様々な協働や交渉等の局面で、米・欧・チリ等の観測所スタッフと英語でコミュニケーションができる能力が必須となります。
5. 採用決定後なるべく早い時期
6. 博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴（個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトがある場合は果たした業績を具体的に記入してください。）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別すること）、(4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に (1)-(4) の概要がわかる書類
8. 2008年2月29日（金）必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 観山正見
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室長 長谷川哲夫
Tel: 0422-34-3780

e-mail: tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp

10. 封筒の表に「ALMA 准教授応募書類」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。選考は国立天文台運営会議で行います。

国立天文台 ALMA 推進室助教

1. 助教 1 名
2. (1) 国立天文台 ALMA 推進室
(2) チリ・サンチャゴ
3. ALMA プロジェクトの推進
4. 国立天文台では、日米欧三極による国際プロジェクトである ALMA の建設を進めています。今回公募する助教には、ALMA が天文学のツールとして十分に使えるものかどうか試験運用を通じて確認する CSV (Commissioning & Science Verification) 活動を行い、完成後は ALMA 観測所での運用を担いつつ、ALMA を用いた観測的研究を進められる研究者を求めます。この目的のために、本助教は、国立天文台から派遣される ALMA 国際スタッフ (ISM) として、チリ・ALMA 観測所 (JAO) の科学運用グループに所属し、JAO プロジェクトサイエンティストと協力して ALMA の望遠鏡としての立ち上げを推進することが求められます。なお、国際共同プロジェクトである ALMA の国際スタッフには、完全に国際的な環境の中で、観測所スタッフと英語でコミュニケーションができる能力が必須となります。
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) 5 年。任期満了時に業績評価を行い、任期のない助教となることが可能。
6. 修士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴 (個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトがある場合は果たした業績を具体的に記入してください。)、(3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別すること)、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合は推薦書の他に (1)-(4) の概要がわかる書類
8. 2008 年 3 月 14 日 (金) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 観山正見
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室長 長谷川哲夫
Tel: 0422-34-3780

e-mail: tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp

10. 封筒の表に「ALMA 助教応募書類」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。選考は国立天文台運営会議で行います。

国立天文台先端技術センター助教

1. 助教 1 名
2. (1) 国立天文台先端技術センター
(2) 東京都三鷹市
3. 可視光・赤外線天文学分野の技術開発
4. 先端技術センターでは、主に可視光・赤外線天文学および電波天文学分野での開発研究を行っています。可視光・赤外線天文学分野では、ハワイ観測所と共同してハイパーシュープリームカムの開発を行うと同時に、撮像分光観測装置に共通の基盤技術 (光赤外線検出器および周辺技術、冷却・光学・機械系技術など) の蓄積をはかり、光赤外コミュニティの装置開発を援助できる体制作りを目指しています。自らの天文学研究のテーマを持ちつつ、これらのプロジェクトに貢献する意欲のある助教を求めます。なお、開発研究だけでなく、それをを用いた観測的研究も奨励されます。
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) 5 年。任期満了時に業績評価を行い、任期のない助教となることが可能。
6. 修士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴 (個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトがある場合は果たした業績を具体的に記入してください。)、(3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別すること)、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合は推薦書の他に (1)-(4) の概要がわかる書類
8. 2008 年 3 月 7 日 (金) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 観山正見
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台先端技術センター長 常田佐久
Tel: 0422-34-3876
e-mail: saku.tsuneta@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「先端技術センター助教応募書類」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。選考は国立天文台運営会議で行います。

国立天文台野辺山宇宙電波観測所助教

1. 助教 1 名
2. (1) 国立天文台野辺山宇宙電波観測所
(2) 長野県南牧村
3. 45 m 電波望遠鏡等を活用したミリ波サブミリ波天文学の推進
4. 野辺山宇宙電波観測所は今後も 45 m 電波望遠鏡とチリにある電波望遠鏡 ASTE の共同利用を進め、ALMA 時代に向け科学的な面での準備を強化して行く予定です。特に、45 m 鏡を用いた大規模な観測プロジェクトを実施して電波天文学の研究を推進するとともに、天文学コミュニティ、さらには人類社会の共通の財産となりうるデータを取得して行く計画です。今回公募する助教には、45 m 望遠鏡の運用の中核を担うとともに、ALMA の本格運用に向けて同望遠鏡や ASTE を中軸にしてミリ波サブミリ波天文学を推進すること、さらには同望遠鏡関連の観測システムの強化などにも貢献を期待しています。
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
(2) 5 年。任期満了時に業績評価を行い、任期のない助教となることが可能。
6. 修士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴（個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトがある場合は果たした業績を具体的に記入してください。）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別すること）、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合は推薦書の他に (1)-(4) の概要がわかる書類
8. 2008 年 2 月 29 日（金）必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 観山正見
(2) 〒384-1305 長野県南牧村野辺山 462-2
国立天文台野辺山宇宙電波観測所長
川邊良平
Tel: 0267-98-4400, 0422-34-3742
e-mail: kawabe@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「野辺山宇宙電波観測所助教応募書類」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。選考は国立天文台運営会議で行います。

国立天文台研究員

国立天文台では、若手研究者に自主的な研究の場を提供し、多くの研究成果を挙げることを通じて研究者としての基盤を確立していただくことを主たる目的として、「国立天文台研究員（一般枠およびプロジェクト枠）」を以下の要領により公募いたしますので、奮ってご応募ください。なお、要領には、全ての研究員に共通の事項と、各々の枠で異なる事項がありますので、ご留意下さい。また、一般枠とプロジェクト枠との併願、複数のプロジェクト枠への併願は、いずれも可能です。

〈国立天文台研究員公募要領〉

（共通事項）

1. 募集人員 若干名
2. 着任日：平成 20 年 4 月 1 日以降
3. 任期：原則として平成 23 年 3 月末日までの 3 年間。ただし、平成 16 年 4 月以降、既に国立天文台研究員として勤務した期間がある場合は、通算勤務期間が 5 年を超えないように設定されます。
4. 再任：個別事項に述べられている場合を除き、審査の上、1 回に限り、再任が可能。再任後の任期は半年以上 2 年以下。ただし、前項の但し書きが同様に適用されます。
5. 身分・待遇：短時間契約職員として採用され、大学助教相当の時間単価（期末手当等も含む）で週 30 時間の給与及び交通費が支給されます。なお、勤務時間の半分までは、所属する研究部・プロジェクト・センター等の長と相談の上で、所属プロジェクト等の業務を行う義務があります。
6. 応募資格：博士の学位を取得した者又は平成 20 年 3 月 31 日までに取得見込みの者。なお、平成 20 年 9 月 30 日までに取得見込みの者は、その旨を記載のこと。
7. 提出書類：応募書類は返却しませんので、写しで構いません。(1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文と、その他を区別し、共著論文の場合は著者名を全て明記すること）、(4) 主要論文の写し（3 編以内）、(5) 研究計画書、(6) 推薦書（ある場合のみ添付）
8. 応募締切：平成 20 年 1 月 8 日（火）必着

（個別事項）

1. 一般枠
募集分野・職務内容：国立天文台の全ての分野（詳細

は国立天文台のホームページを参照のこと)において、優れた研究成果を挙げることを期待します。なお、研究計画書に希望の分野・勤務地を明記してください。また、併願の場合は、それぞれの研究計画書を用意してください。

応募上の注意: 封筒の表に「国立天文台研究員(一般枠)応募書類在中(〇〇分野)」と朱書し、郵送の場合は配達記録で送付すること。分野は、たとえば、光赤外、電波、理論、太陽、VLBI、惑星科学など、国立天文台の研究分野を参考に、各自、適当な分野を指定してください。複数指定することも可能です。

提出先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台長 観山正見

問合せ先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台副台長(総務担当) 福島登志夫

Tel: 0422-34-3613

e-mail: Toshio.Fukushima@nao.ac.jp

2. プロジェクト枠

○ハワイ観測所

募集分野・職務内容: ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用を推進し、また将来へ向けての開発を進めている。本プロジェクトでは、自身の研究を積極的に進めるとともに、本プロジェクトの開発や共同利用を推進する研究員を募集する。研究員の主な業務は以下の通りである。また、これ以外に計算機運用支援、遠隔観測支援、各種研究会の世話人等の業務がある。なお、着任後の職務は以下の項目の中から担当することになるので、特に希望があれば研究計画書の中で記述すること。また過去に以下の業務に類似の経験がある場合は、研究歴の最後に付記すること。

(1) すばる望遠鏡の戦略的観測の推進

ハワイ観測所では、太陽系外惑星探査や遠方銀河の広視野赤外線分光観測などの分野における、すばる望遠鏡を用いた戦略的研究をすすめているが、これら戦略的観測研究の詳細設計に貢献し、また、中心となるデータ解析ツールの開発を行う。

(2) すばるアーカイブデータの整約と公開

すばる望遠鏡で取得され、公開期間となっている観測データのうち、とくに広視野撮像データなどで、観測者以外の多くの研究者にも有用なものについて、整約データの作成および公開を行う。

(3) すばるに関する広報活動

すばる望遠鏡による観測成果の広報活動の支援、とくに広報資料(天体画像を含む)の作成を行う。

(4) 三鷹リモートモニター観測の推進

現在試験的に運用しているリモートモニター観測の運用・管理、および予定されている観測統合制御システム更新に対応する作業を行う。

勤務地: 東京都三鷹市

ただし、ハワイ観測所(米国ハワイ州ヒロ市)への長期(3カ月以内)出張による業務も複数回ありうる。応募上の注意: 封筒の表に「国立天文台研究員(ハワイ観測所枠)応募書類在中」と朱書し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。

提出先・問合せ先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台ハワイ観測所(三鷹) 野口邦男

Tel: 0422-34-3519

e-mail: knoguchi@optik.mtk.nao.ac.jp

○野辺山宇宙電波観測所(ASTEを含む)

募集分野・職務内容: 野辺山宇宙電波観測所の45m電波望遠鏡またはASTE(アタカマ・サブミリ波望遠鏡実験)の技術開発、観測運用または関連装置開発などを行いながら、観測的または開発的研究を推進する若手研究者。勤務時間のおよそ半分は観測運用などの業務を行う義務を負う。なお、研究計画書に主として携わる観測装置を明記のこと。また、携わる観測装置を併願する場合は、それぞれの計画書を提出すること。

勤務地: 長野県南牧村野辺山

チリへの長期出張の可能性がある。

提出先・問合せ先: 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台野辺山宇宙電波観測所長 川邊良平

e-mail: ryo.kawabe@nao.ac.jp

応募上の注意: 封筒の表に「国立天文台研究員(野辺山宇宙電波観測所枠)応募書類在中」と朱書し、郵送の場合は簡易書留とすること。

○野辺山太陽電波観測所

募集分野・職務内容: 野辺山太陽電波観測所では、電波ヘリオグラフとマイクロ波帯の強度偏波計群による太陽観測を行い、これらのデータと衛星や地上観測のデータを併せた多波長データ解析によって、太陽活動特にフレアにおける粒子加速の研究を行っている。また、取得したデータを公開し、国内外の研究者の共同利用に供している。本研究員は観測に参加するとともに、共同利用のためのソフトウェア開発、データ整理、および外部ユーザーへのサービスにあたる。また、電波データを用いた太陽活動の研究にたずさわる。

勤務地：長野県南佐久郡南牧村野辺山
 提出先・問合せ先：〒384-1305 長野県南佐久郡南牧
 村野辺山 462-2
 国立天文台野辺山太陽電波観測所長 柴崎清登
 Tel: 0267-98-4488
 e-mail: shibasaki@nro.nao.ac.jp

応募上の注意：封筒の表に「国立天文台研究員（野辺
 山太陽電波観測所）応募書類在中」と朱書きし、郵
 送の場合は簡易書留とすること。

○水沢 VERA 観測所

募集分野・職務内容：国立天文台水沢 VERA 観測所
 では、2000 年度より日本国内 4 カ所（岩手県奥州
 市、鹿児島県薩摩川内市、東京都小笠原村、沖縄県
 石垣市）に口径 20 m の電波望遠鏡を設置し、2 ビーム
 VLBI 観測により大気の影響を取り除いた高精度
 位置天文観測（VERA 計画）を行っています。これ
 により、銀河系全域のメーザー天体について年周視
 差を計測し、銀河系の構造や運動を明らかにするプロ
 ジェクトを推進しています。また同時に、星形成
 領域や晩期型星の周囲のガスの運動状態を 3 次元的
 に明らかにし、それらの構造と進化を明らかにする
 ことや、世界最高精度の精密測地観測による地球物
 理学・測地学研究を併せて推進しています。また、
 VERA 計画の 4 局を中核として、日本国内において
 10 局の VLBI 観測網を構築し、主に AGN ジェットの
 観測研究（大学連携 VLBI 観測網プロジェクト）、
 およびこれらの一部を光ファイバー網で結合し、超
 高感度の VLBI 観測網を実現し、新たな VLBI 観測
 を展開する研究（光結合 VLBI プロジェクト）を推
 進しています。これらの研究プロジェクトに参画
 し、システムの構築・精度評価および観測方法など
 の検討を行い、研究を推進する若手研究者を求めま
 す。

勤務地：東京都三鷹市もしくは岩手県奥州市
 採用後の研究・勤務内容によって定める。
 提出先・問合せ先：〒023-0861 岩手県奥州市水沢区
 星が丘町 2-12
 国立天文台水沢 VERA 観測所長 小林秀行
 Tel: 0197-22-7128（水沢）、0422-34-3914（三鷹）
 e-mail: hideyuki.kobayashi@nao.ac.jp

応募上の注意：封筒の表に「国立天文台研究員（水沢
 VERA 観測所）応募書類在中」と朱書きし、郵送の
 場合は配達記録で送付すること。

○ALMA 推進室

募集分野・職務内容：ALMA 推進室では、以下の分野

を担当する ARC/サイエンスチーム研究員（若干
 名）を募集します。勤務時間のおよそ半分は開発や
 プロジェクト推進などの業務を行っていただきます。

- (A) 三鷹に整備予定の東アジア ALMA 地域センター
 (ARC) においてユーザー向け各種ソフトウェアの
 導入・テスト・マニュアル整備を行う。
- (B) ALMA サイトでの科学的な立ち上げ試験 (Com-
 missioning & Science Verification) を行う。また、そ
 こにおけるデモンストレーション・サイエンス観測
 に参加する。このためには、チリへの出張が必要。
- (C) 日本や台湾などの東アジア地域研究者と共同で、
 ALMA に向けたサイエンスプロジェクトの立案、
 準備を行う。
- (D) 日本が担当する ACA (アタカマコンパクトアレ
 イ) の較正法や ACA を用いたイメージング法の研
 究開発を行う。その目的のためにサブミリ波干渉計
 (SMA) などを用いて実験を行う可能性もある。

勤務地：東京都三鷹市（ただし、チリ、欧州、北米、
 台湾等に出張の可能性あります。）

再任の有無：再任なし

応募上の注意：封筒の表に「国立天文台研究員（ALMA
 推進室）応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は
 簡易書留で送付すること。

提出先・問合せ先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-
 21-1
 国立天文台 ALMA 推進室長 長谷川哲夫
 Tel: 0422-34-3780
 e-mail: tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp

○ひので科学プロジェクト

募集分野・職務内容：ひので科学プロジェクトでは、
 太陽観測衛星「ひので」の 3 遠望鏡 (SOT, XRT,
 EIS) の科学運用（観測）及びデータ解析を推進し、
 次期太陽観測衛星の計画立案に積極的に参加する研
 究員を求めます。

勤務地：東京都三鷹市
 応募上の注意：封筒の表に「国立天文台研究員（ひの
 で科学プロジェクト）応募書類在中」と朱書きし、
 郵送の場合は配達記録で送付すること。

提出先・問合せ先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-
 21-1
 国立天文台ひので科学プロジェクト長 常田佐久
 Tel: 0422-34-3720
 email: saku.tsuneta@nao.ac.jp

○重力波プロジェクト推進室

募集分野・職務内容：国立天文台重力波プロジェクト推進室では、TAMA300の高性能化に向けた開発研究や地上・スペース双方の将来計画のための基礎実験など、重力波検出のための開発研究に参加する若手研究者を求めます。勤務時間のおよそ半分はプロジェクトとしての開発研究や院生等の指導・実験補助、プロジェクト推進などの業務を行う義務を負っていただきます。

勤務地：東京都三鷹市

応募上の注意：封筒の表に「国立天文台研究員（重力波プロジェクト推進室）応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は配達記録で送付すること。

提出先・問合せ先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台重力波プロジェクト推進室長 藤本真克
Tel: 0422-34-3622

e-mail: fujimoto.masa-katsu@nao.ac.jp

○RISE 推進室

募集分野・職務内容：RISE 推進室では、2007年に打ち上げられた月探査衛星「かぐや (SELENE)」において、リレー衛星、VLBI 衛星、レーザ高度計による、月の重力・地形の高精度観測を行います。また将来の月惑星探査に備えた研究開発も行っています。本プロジェクトでは、「かぐや」衛星の観測機器運用および重力・測地データ解析、将来探査の基礎研究開発を推進する研究員を募集します。

勤務地：岩手県奥州市もしくは東京都三鷹市

応募上の注意：封筒の表に「国立天文台研究員 (RISE 推進室) 応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は配達記録とすること。

提出先・問合せ先：〒023-0861 岩手県奥州市水沢区星が丘町 2-12

国立天文台 RISE 推進室長 佐々木 晶

Tel: 0197-22-7139

e-mail: sho@miz.nao.ac.jp

○スペース VLBI 推進室

募集分野・職務内容：国立天文台スペース VLBI 推進室では、宇宙科学研究本部と協力して次期スペース VLBI 計画である VSOP-2 計画を推進しており、今年度から衛星 (Astro-G) の製作を開始して 2012 年打上げ予定です。本計画では超高分解能で活動銀河中心核の巨大ブラックホール近傍の降着円盤、相対論的ジェット加速領域などの直接撮像を行い、これらの物理状態・過程の解明を目指しています。その

ために科学検討や、衛星観測系の設計・製作、また地上 VLBI 観測網や観測システムの検討・整備、相関器製作などを、国内外の関係者と協力して推進しています。この VSOP-2 計画に参画し、本計画を強力に進める意欲的な若手研究者を募集します。

勤務地：東京都三鷹市

提出先・問合せ先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台スペース VLBI 推進室長 井上 允

Tel: 0422-34-3940

e-mail: inoue@nro.nao.ac.jp

URL: <http://vsop.mtk.nao.ac.jp/>

応募上の注意：封筒の表に「国立天文台研究員 (スペース VLBI 推進室) 応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留で送付すること。

○天文データセンター

募集分野・職務内容：国立天文台天文データセンター (ADC) では、今年度は以下の 1 分野について、研究員を募集します。

• SMOKA (<http://smoka.nao.ac.jp>) の開発

ADC が運用する天文データベース SMOKA の開発と運用業務を担いデータの品質評価や校正などに取組む意欲を持った若手研究者を求めます。勤務時間のおよそ半分は、天文データベースの開発や運用業務を行う義務を負っていただきます。

勤務地：東京都三鷹市

応募上の注意：封筒の表に「国立天文台研究員 (天文データセンター) 応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は配達記録で送付すること。

提出先・問合せ先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台天文データセンター長 水本好彦

Tel: 0422-34-3760

e-mail: mizumoto.y@nao.ac.jp

○先端技術センター

先端技術センターでは、主に可視光・赤外線天文学および電波天文学分野での開発研究を行っています。センターで現在実施されているプロジェクトのみならず、将来必須となる基礎技術の開発研究を行う研究員を募集します。なお、開発的研究のみならず、それと関連する観測的研究を合わせて行うことも可能です。募集分野：

A. 可視光赤外線天文学分野

光赤外グループでは、すばる望遠鏡用次世代観測装置の開発を行っています。さらに、今後共通の基盤技

術（検出器制御技術，冷却光学機械系設計製作等）の蓄積をはかり，光赤外コミュニティの装置開発を援助できる体制作りを目指しています。自らの天文学研究のテーマを持ち，それを達成するために新しい技術開発を行う意欲のある人を求めます。

B. ALMA バンド 10

ALMA バンド 10 (787-950 GHz) 受信機の開発を進めています。テラヘルツ帯における SIS ミキサや入力光学系などの要素技術の開発を意欲的に進める若手研究者を求めます。勤務時間のおよそ半分はバンド 10 受信機の研究開発に従事する義務を負っていただきます。

C. 電波天文学分野

C-1: ALMA の受信機開発とともに，次世代のミリ波サブミリ波受信機・検出器・観測技術の開発を進めています。ALMA のミリ波・サブミリ波受信機の開発やそれを応用した多チャンネル受信機・検出器の開発，ミリ波サブミリ波観測技術の基礎開発を進める若手研究者を求めます。勤務時間の半分は開発プロジェクトに参加していただきますが，観測的研究について進めていただくことも可能です。

C-2: テラヘルツ領域の広視野高感度観測を目指したテラヘルツ技術の開発を進めています。今回の公募では，遠赤外線からサブミリ波領域における超伝導検出器を用いた大規模 2 次元アレイの開発（設計・製作・評価）を行う若手研究者を募集します。同領域における天文学の観測的研究および将来計画の立案・推進にも積極的に関わっていただける方の応募を期待します。

勤務地：東京都三鷹市大沢

応募書類提出先および問い合わせ先：

(1) 提出先

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台先端技術センター長 常田佐久

(2) 問い合わせ先：先端技術センター

A. 宮崎 聡

Tel: 010-1-808-934-5956

e-mail: satoshi@subaru.naoj.org

B. 鶴沢佳徳

Tel: 0422-34-3807

e-mail: y.uzawa@nao.ac.jp

C-1 関本裕太郎

Tel: 0422-34-3982

e-mail: yutaro.sekimoto@nao.ac.jp

C-2 松尾 宏

Tel: 0422-34-3915

e-mail: h.matsuo@nao.ac.jp

応募上の注意：封筒の表に「先端技術センター研究員 応募書類在中」と朱記すること。郵送の場合は簡易書留で送付すること。

その他：国立天文台研究員（一般枠）募集に同じ。

○太陽系外惑星探査プロジェクト室

募集分野・職務内容

太陽系外惑星検出，とりわけ，地上・スペースにおける直接観測のための装置やミッションおよびそれによる系外惑星サイエンスの推進など，に参加する若手研究者を期待しています。本プロジェクト室の現在の具体的な検討テーマは，(1) すばる望遠鏡用次期高コントラスト観測装置の保守・アップグレード，(2) 次期赤外線衛星 SPICA のための観測装置開発とサイエンスの検討，(3) 地球型系外惑星検出ミッション及び観測装置の開発研究です。勤務時間のおよそ半分は開発やプロジェクト推進などの業務を行う義務を負っていただきます。

勤務地：東京都三鷹市大沢（但し，ハワイに頻繁に出張する可能性があります。）

応募上の注意：封筒の表に「国立天文台研究員（系外惑星プロ枠）応募書類在中」と朱書し，郵送の場合は簡易書留で送付すること。

応募書類提出先および問い合わせ先

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台太陽系外惑星探査プロジェクト室長
田村元秀

Tel: 0422-34-3513 or 3516

e-mail: hide@optik.mtk.nao.ac.jp

○ELT プロジェクト

募集分野：ELT プロジェクト室

日米加の国際協力での建設を構想中の TMT (30 m 望遠鏡) 計画に関連して，TMT 用観測装置構想の検討，補償光学の開発，TMT に向けたサイエンスの検討，主鏡セグメントの開発などに積極的に参加する若手研究者を求めます。勤務時間の 50% はプロジェクト関連の業務・検討を行う義務を負っていただきます。

勤務地：国立天文台三鷹，ハワイ観測所，（カリフォルニア工科大学，リック天文台，ヴィクトリア天文台への出向の可能性もある）

応募書類提出先および問い合わせ先

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 ELT プロジェクト室長 家 正則

Tel: 0422-34-3520

e-mail: iye@optik.mtk.nao.ac.jp

応募上の注意

封筒に「国立天文台 ELT プロジェクト研究員応募書類在中」と朱記し、簡易書留で郵送して下さい。

京都大学基礎物理学研究所非常勤研究員

1. 京都大学基礎物理学研究所非常勤研究員・若干名
3. 理論物理学
5. (1) 平成 20 (2008) 年 4 月 1 日
(2) 特に問題がなければ平成 22 (2010) 年 3 月末日までの 2 年間
6. 平成 20 (2008) 年 4 月 1 日現在、博士の学位を有する者又は博士の学位取得が確実な者
7. 以下の (1)–(7) の書類を電子メールで〈posdoc08@yukawa.kyoto-u.ac.jp〉に送ること。メールの Subject は「非常勤研究員応募」とすること
(1) 履歴書, (2) 発表論文リスト (共著論文の場合は共著者名を明記し, 主要論文 3 点以内の番号には印をつけること), (3) 主要論文 ((2) で印を付けた論文の pdf ファイルを添付またはそのアーカイブ番号を指定すること), (4) 研究歴, (5) 研究計画, (6) 意見書 (1–2 通。意見書は, 「非常勤研究員意見書」と朱書きの上, 下記郵送先に送付してもよい), (7) 応募票 (<http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~yitpsec/H20ptr-form.pdf> よりダウンロード)
8. 平成 20 (2008) 年 1 月 7 日 (月) 必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所長 江口 徹宛
(2) 同研究所 Tel: 075-753-7009 (藤田)
10. 素粒子または宇宙分野の方で、別途募集する科研費研究員 (応募書類は共通) にも応募する場合は、応募票の該当欄に記入すること。
11. 非常勤教職員に採用され、月額約 30 万円の給与と、少額の研究費が支給される。(現在非常勤研究員制度の見直しが検討されており、待遇等の条件が若干変わる可能性があります。)

京都大学基礎物理学研究所科研費による非常勤研究員

1. 京都大学基礎物理学研究所 科研費による非常勤研究員 1 名
3. 素粒子ないし宇宙
4. 素粒子物理ないし宇宙理論の理論研究を行うとともに、上記の研究課題の推進に協力する。
5. (1) 平成 20 (2008) 年 4 月 1 日
(2) 着任時期より、2 年間ないし 4 年間

6. 平成 20 (2008) 年 4 月 1 日現在、博士の学位を有する者又は博士の学位取得が確実な者
7. 以下の (1)–(7) の書類を電子メールで〈sc-posdoc@yukawa.kyoto-u.ac.jp〉に送ること。メールの Subject は「科研費による研究員応募」とすること
(1) 履歴書, (2) 発表論文リスト (共著論文の場合は共著者名を明記し, 主要論文 3 点以内の番号には印をつけること), (3) 主要論文 ((2) で印を付けた論文の pdf ファイルを添付またはそのアーカイブ番号を指定すること), (4) 研究歴, (5) 研究計画, (6) 意見書 (1–2 通。意見書は, 「科研費による研究員応募意見書」と朱書きの上, 下記郵送先に送付してもよい), (7) 応募票 (<http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~yitpsec/H20ptr-form.pdf> よりダウンロード)
8. 平成 20 (2008) 年 1 月 7 日 (月) 必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所 江口 徹宛
(2) 同研究所 Tel: 075-753-7015
e-mail: eguchi@yukawa.kyoto-u.ac.jp
11. 給与 学振研究員と同程度。また審査により研究費が認められます。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

大阪大学大学院理学研究科教員

1. 2007 年 6 月 (第 100 巻 6 号)
2. 芝井 広 (名古屋大学理学研究科教授)
3. 2008 年 4 月

京都大学基礎物理学研究所教授
宇宙物理学 (理論)

1. 2007 年 7 月 (第 100 巻 7 号)
2. 田中貴浩 (京都大学大学院理学研究科・准教授)
3. 2008 年 4 月

研究助成

(財)天文学振興財団 平成 20 年度研究助成等公募

当財団では、国立天文台の事業支援等を通じて天文学の振興を図っております。

平成 19 年 12 月 20 日

(財)天文学振興財団 理事長 海部宣男

1. 公募種目

(1) 研究助成

- a. 対象：天文学に関する優れた研究活動（1 年以内）を行おうとする個人又は団体の代表者、原則として 35 歳以下
- b. 助成：1 件 100 万円以下、平成 18 年度は 1 件（100 万円）

(2) 国際交流に対する助成

- a. 対象：天文学に関する海外での国際交流活動（1 カ月以内）に平成 20 年 4 月以降参加する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復航空賃及び滞在費の一部、平成 18 年度の助成件数は 1 件（平均 37 万円）

(3) 国際研究集会参加に対する助成

- a. 対象：平成 20 年 4 月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会（10 日以内）に参加、発表する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復運賃、平成 18 年度の助成件数は 10 件（平均 17 万円）

(4) 国際研究集会開催に対する助成

- a. 対象：平成 19 年 4 月以降に国内で天文学に関する国際研究集会を開催する研究者グループ。
- b. 助成：1 件 100 万円以下、平成 18 年度の助成件数は 2 件（平均約 66 万円）

2. 申込期限：(1) は平成 20 年 1 月末日

(2), (3) は毎年 5 月末日, 9 月末日, 翌年 1 月末日の計 3 回

(4) は第 1 回が 5 月末日（対象期間が 7 月以降の開催）

第 2 回が 9 月末日（対象期間が 11 月以降の開催）

第 3 回が前年度 1 月末日（対象期間は前年度 3 月以降～当該年度 6 月末日迄

の開催）

3. 選考結果：選考委員会で審査の上、選択の可否については、各申込期限の約 1 カ月後に文章で通知します。
4. 報告：研究助成は、年度末、それ以外の助成は、帰国後及び開催後 1 カ月以内に報告書を提出して頂きます。
5. 申請：申請書は事務所あてに請求して下さい。
6. 問合せ先：(財)天文学振興財団事務所
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台内
Tel: 0422-34-8801
Fax: 0422-34-4053

第 49 回藤原賞受賞候補者ご推薦依頼

事業の概要

わが国に国籍を有し、現在活躍中で科学技術の発展に卓越し、貢献した科学者を顕彰し、副賞を含め、記念品を贈呈しております。その受賞候補者を募集いたします。

1. 対象分野：自然科学の全分野
2. 賞の内容：年 2 件
賞状、賞牌（金メダル）、副賞（各 1 千万円）
3. 推薦要項書提出締切日：2008 年 1 月 31 日（木）藤原科学財団必着
4. 申請書提出先・連絡先：
〒104-0061 東京都中央区銀座 3-7-12
財団法人藤原科学財団
Tel: 03-3561-7736 Fax: 03-3561-7860
5. 藤原科学財団ホームページ：
<http://www.fujizai.or.jp>
ホームページに募集要項書が掲載されております。

公益信託山村富美記念女性自然科学者 研究助成基金助成公募（平成 20 年度）

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を下記受託者にお送り下さい。

- 対象：わが国の大学、国公立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連する物理学・生物学）の基礎研究に従事する若手女性研究者（国籍を問わない）。
- 助成の種類：山村フェロー：博士号を取得している

若手女性研究員（2百万円）3名程度、2年間助成。

- 申込締切日：2008年3月31日（月）
- 申請書：中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

<http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k-topm.html>

- 申込・問合せ先：
〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1
中央三井信託銀行本店法人営業部
公益信託課山村基金担当
Tel: 03-5232-8911 Fax: 03-5232-8919

公益信託林女性自然科学者研究助成基金 助成公募（平成20年度）

下記の助成を行うことになりました。
希望者は申請書を下記受託者にお送り下さい。

- 対象：わが国の大学、国公立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連する物理学・生物学）の基礎研究に従事する若手女性研究者（国籍を問わない）。
- 助成内容：①研究助成：15件程度、総額約2千万円。
②林フェロー：博士号を目指す若手研究者（100万円）5名程度、2年間助成。③国際研究交流助成（国際研究集会での研究発表、海外での共同研究のための渡航）年10件程度、総額150万円。
- 申込締切日：2008年3月31日（月）③は受託者に問い合わせのこと。
- 申請書：中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。
<http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k-topm.html>
- 申込・問合せ先：
〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1
中央三井信託銀行本店法人営業部
公益信託課林基金担当
Tel: 03-5232-8911 Fax: 03-5232-8919

研究会・集案案内

銀河学校 2008 生徒募集

東京大学天文学教育研究センター木曾観測所では、天文学をはじめとする自然科学に興味をもっている高校生を対象とした天文学実習、『銀河学校 2008』* を開催します。

105 cm 望遠鏡をつかって天体を観測し、授業や講

義内容をもとに、結果を解析、考察、そして発表することで、天文学研究を体験します。

高校生のみなさんの参加をお待ちしております。

日時：2008年3月28日（金）～31日（月）
（3泊4日）
場所：長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30 東京大学木曾観測所
主催：銀河学校実行委員会
実習内容：105 cm シュミット望遠鏡をつかった観測と研究

対象：高校生 30 名程度（新高校生をふくむ）
参加費用：6,500 円（食事代、傷害保険料をふくむ）
応募方法：「望遠鏡で研究してみたい宇宙の謎」をテーマとした 800 字程度の作文と、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、学校名、学年を明記したものを下記まで郵送。

応募しめきり：2008年2月15日（金）必着
宛先：〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30
東京大学木曾観測所銀河学校係

問い合わせ：東京大学木曾観測所
Tel: 0264-52-3360
ホームページ：<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/OUTREACH/GS/>

応募者多数の場合は、作文による選考をおこないます。結果は、3月7日（金）までに、応募者全員に通知します。

*『銀河学校 2008』は、「子どもゆめ基金」の助成と「NPO サイエンスステーション」の協力を受けて開催されます。

2008 年第 33 回光学シンポジウム講演募集 「光学システム・光学素子の設計、製作、評価を中心として」

光学シンポジウムは、日本光学会会員の皆様が日頃の研究、開発の成果を発表し、討論する場として、毎年開催されています。次回も下記の要領で第 33 回光学シンポジウムを開催致します。多数の皆様からの積極的な応募をお願いいたします。

主催：日本光学会（応用物理学会）
日時：2008年7月3日（木）、4日（金）
場所：東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール 東京都目黒区駒場 4-6-1
応募資格：日本光学会（入会予定も含む）、応用物理学

会, SPIE, OSK 及び協賛の学協会会員

応募方法: 2008年3月7日(金)までに, 題目, 氏名(登壇者には○を付ける), 所属機関名, 英文題目, 英文氏名, 所属機関英文名, アブストラクト(200字以内), 連絡先(郵便番号, 住所, 氏名, e-mail, 電話, FAX)を記載して optsympo33@mirror.ocn.ne.jp まで電子メールにてお送りください。

問合せ先: 〒192-8505 東京都八王子市石川町 2970
コニカミノルタオプト(株)

S&A 事業推進室 白石武嗣

Tel: 042-660-9320 Fax: 042-660-9464

e-mail: optsympo33@mirror.ocn.ne.jp

協 賛: 日本天文学会, 日本物理学会, 日本分光学会, レーザー学会, 他

ホームページ: 詳細は下記ホームページをご覧ください。

<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/>

その他

「第49回科学技術映像祭参加作品募集」

科学技術に関するすぐれた映像作品を募集。基礎研究部門では学術的価値のある作品を特に募集しており, 個人制作作品の応募も受け付けている。3月中旬に内閣総理大臣賞1作品, 文部科学大臣賞14作品を発表, 応募締切2008年1月28日。

- 問合せ先: 科学技術映像祭事務局
(日本科学技術振興財団内)
Tel: 03-3212-8487 Fax: 03-3212-0014
URL: <http://ppd.jsf.or.jp/filmfest>

会務案内

2008年度内地留学奨学金支給者の決定について(報告)

内地留学奨学金選考委員会 委員長 岡崎 彰

天文月報2007年7月号で表記の奨学金について募集しましたところ, 1名の応募がありました。

選考委員会で研究計画, 奨学金の用途につきまして詳細に吟味, 検討した結果, 下記の方を奨学金支給者に決定しましたので, ご報告いたします。

記

氏 名: 大塚勝仁

職 業: 歯科医師

研究題目: ヒルダ小惑星・彗星の研究

受入機関及び指導教官: JAXA 吉川 真

支給金額: 23万円

日本天文学会創立百周年記念講演会並びに祝賀会のご案内

日本天文学会は、天文学の進歩及び普及を目的として、多くの意欲あふれる個人・法人・団体を集め、1908年（明治41年）1月に創立されました。天文学の研究の発展や奨励に尽力すべく、「天文月報」の刊行、欧文学術研究報告誌の刊行、学術研究会である年会の開催、研究の奨励のための各種事業等を行って参りました。また、国際天文学連合をはじめ、諸外国の天文学会等学術団体との国際協力や連絡にも、日本を代表する組織として、役割を果たして参りました。

天文学は近年目覚ましい勢いで発展し、天文学のこの100年の進展は、当事者である天文学研究者にとってさえ、日々が新鮮に映るほど目覚ましいものがあります。その成果や発展ぶりが新聞やテレビ等の報道を賑わすことも日常的となり、多くの人々の関心を集めています。この天文学の世界の発展に、日本天文学会の会員や天文学研究者も様々な貢献を果たしていることは、日本天文学会の誇りであり喜びとするところです。このように日本天文学会が創立以来100年間に亘り活動が出来ましたことも、ひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物と感謝申し上げます。

本年2008年（平成20年）に日本天文学会創立100周年を迎えるにあたり、天文学の更なる進歩及び普及に一層の貢献をする決意も新たに、創立100周年記念講演会並びに祝賀会を催すことに致しました。皆様のご出席を賜りたく、ここにご案内申し上げます。

社団法人日本天文学会理事長 土佐 誠

「日本天文学会創立百周年記念講演会」

記

期 日：平成20年3月23日（日）15:00-17:00

会 場：学術総合センター一橋記念講堂
東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号
Tel: 03-4212-6321

最寄駅：東京メトロ東西線「竹橋」1b出口もしくは
東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8出口 いずれも徒歩3~5分

会 費：無料

1. 開場 14:30
2. 開会の辞 15:00
3. 基調講演
「日本天文学会百年の歩み」 土佐 誠（日本天文学会理事長）
4. 日本天文学会創立100周年事業の紹介
5. 記念講演
「天文学の百年」 尾崎洋二（東京大学名誉教授）
6. 閉会 17:00

会場の定員は500名となっております。ご参加には、事前のお申し込みをお願いしております。

連絡先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内
社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 Fax: 0422-31-5487

「日本天文学会創立百周年記念祝賀会」

記

期 日：平成 20 年 3 月 23 日（日）18:00-20:00

会 場 学士会館本館（講演会場とは道路をはさんだ向かい側です）

東京都千代田区神田錦町 3-28

Tel: 03-4212-6321

最寄駅：東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A9 出口 1 分もしくは東京メトロ東西線「竹橋」から徒歩 5 分もしくは JR 東京駅丸の内北口からタクシーで約 10 分

会 費：1 万円

会場の定員は 270 名となっております。ご参加には、事前のお申し込みと会費の事前振込をお願いしております。お申し込み頂いたうえ、お手数ながら、2 月 15 日までに、下記郵便振替もしくは銀行口座へ会費をお振り込み下さいますようお願い申し上げます。

連絡先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内

社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 Fax: 0422-31-5487

e-mail: jimuj@asj.or.jp

振込先：郵便振替の場合

口座番号：00190-8-336283

口座名称：天文学会創立百周年記念祝賀会

（テンモンガッカイソウリツヒャクシュウネンキネンシュクガカイ）

振込先：銀行振込の場合

三菱東京 UFJ 銀行調布支店（店番号 590）

口座番号：普通預金 1961548

口座名称：天文学会創立百周年記念祝賀会

（テンモンガッカイソウリツヒャクシュウネンキネンシュクガカイ）

天文月報オンラインの ID とパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード vol98 の計 10 文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。

和田桂一（編集長）、浅井 歩、今西昌俊、衣笠健三、齋藤正雄、寺田幸功、戸谷友則、三好 真、矢野太平、吉田直紀
平成 19 年 12 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価 700 円（本体 667 円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359（事務所）/0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2007 年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）